

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都多摩市鶴牧 1-25-2
園名	キッズサポート多摩めぐみクラブ

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と色

<テーマの設定理由>

保育室のガラス扉に外から飛び散った水しぶきに興味を持つ子どもの姿を見て、光と透過について探求してみたいと考えた。色に関心を持ち始める月齢でもあることから、光と透過、色を組み合わせることにした。

### 2. 活動スケジュール

2024年7月～室内にてカラーセロファンを使った遊び

2024年11月～戸外でのカラーセロファンを使った遊び

- ① 園庭にビニールシートを張り、くぐる
- ② 公園などで色の着いた影を見る

2025年1月～室内にて懐中電灯を使った遊び

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

カラーセロファン（7色。ブックカバーでパウチする）

園芸用透明シート（3m×6m）

塩ビパネル（脚をつけて自立させる）

懐中電灯（セロファンを掛けた物も用意）

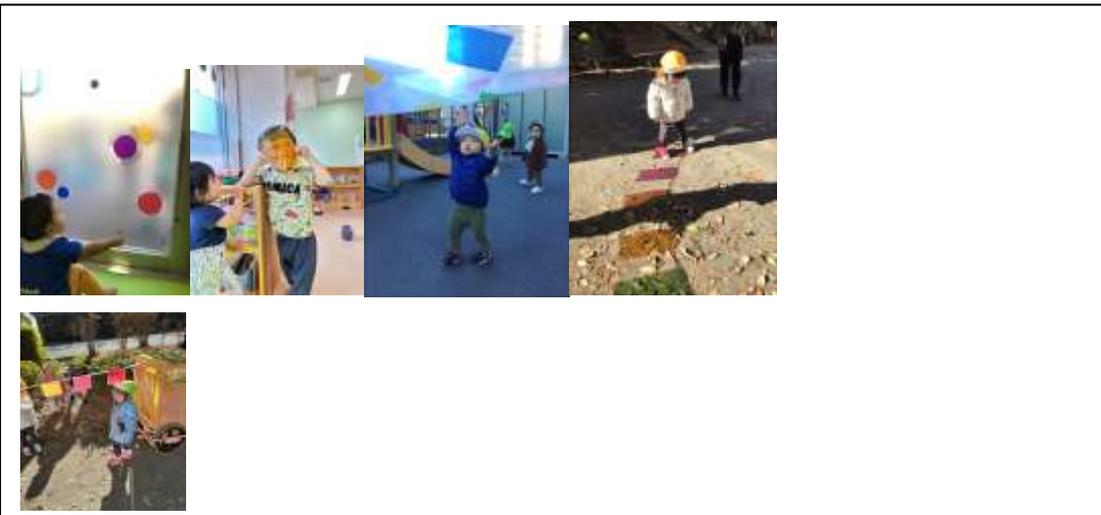
#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

1. 室内…カラーフィルムを自由に手に取って遊べる玩具として提供
2. 園庭…カラーフィルムを乗せた透明シートを子どもたちの頭上に張り、下から見上げられるようにする
3. 公園…カラーフィルムを散歩に持って行き、日光で影が出来るようにする
4. 室内…透明パネルに貼ったカラーフィルムに懐中電灯で光を当ててみる  
壁に白黒の絵を貼り、カラーセロファンを張った懐中電灯の光を当てて見る

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

1. カラーフィルムを顔に当てて周囲を見ていた。日が経つにつれて「あか」など自分の欲しい色を伝えて取ってもらうようになっていた。
2. 時間的に日が当たらず、影が出来なかった。子ども達はトンネルの様にくぐって楽しみ、時折見上げていた。
3. 地面に落ちた影に気付き、触ろうとしていた。影ではなく張ってあるカラーフィルムに触ろうとする児もいた。回数を重ねるうちに影に入った靴や自分の手、小石などの色が変わることに気付き観察する児がいた。
4. 懐中電灯を喜び、壁や自分の手に光を当てていた。保育者が壁の絵に色の着いた光を当ててみせると真似する児がいた。



## 5. 振り返り

### <振り返りによって得た先生の気づき>

子ども達の色についての関心が高まる時期に行なったことで、豊かな色彩感覚を育てていく基礎になったのではないかと思う。

発語に関しても色名を獲得し使いこなしていく過程を見守る事が出来た。

初めは「影」という概念もまだ持たなかった子ども達だが、色の着いた影に気付き遊ぶ中で「影に入った物の色が変わる」ことに気付いたのは大きな感動だった。